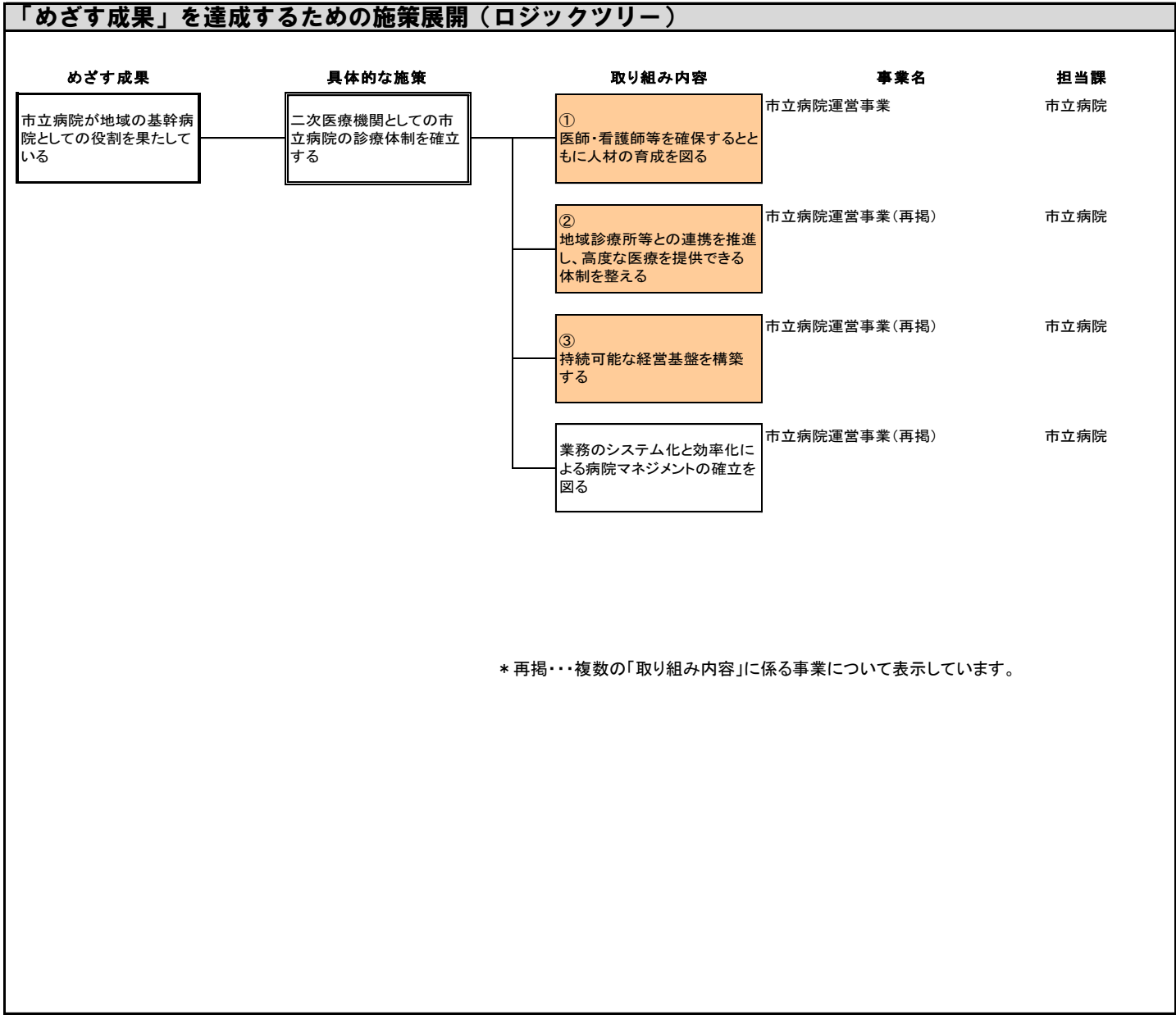


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－2－2 市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている
		医療の高度化や地域連携が図られており、地域の基幹病院としての役割を果たしています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
医師の総数		紹介率		市立病院における経常収支率	
計画策定時 現状値	65人	計画策定時 現状値	28.3%	計画策定時 現状値	88.9%
実績値 （H24）	74人	実績値 （H24）	46.9%	実績値 （H24）	106.0%
中間目標値 （H23）	79人	中間目標値 （H23）	38.0%	中間目標値 （H23）	100.0%
目標値 （H25）	79人	目標値 （H25）	42.0%	目標値 （H25）	100.0%

所 管 部		市立病院事務局	
平成 2 4 年度までの 取り組み内容			
	【二次医療機関としての市立病院の診療体制を確立する】 ・平成25年4月現在、正職医師は77名となり、平成24年度末に比べ4名を増員することができました。 ・地域医療機関との連携を強化することで、平成24年度の紹介率は46.9%になりました。 ・前年度に引き続き 7 対 1 看護基準を年間を通して維持したことで質の高い看護サービスの提供と収入の確保を図ることができました。 ・県央地区唯一の地域がん診療連携拠点病院の指定を受けるとともに、がんに係る専門的治療の提供、連携協力体制の構築、相談支援体制等の整備に努めました。 ・小児周産期医療の強化充実のため、NICUの増床を行いました。 ・小児救急や、がん診療体制等の受入れ体制を強化するため、救急棟の増築工事に着手しました。		
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）			
	・大和市立病院が地域の基幹病院として在り続けるには、健全で安定した経営が不可欠であり、その結果として地域住民に良質な医療サービスが提供できることとなります。そのためには、「大和市立病院経営計画（平成24年度から26年度）」に掲げた重要対策項目の実現に向け努力していくとともに、本院が有する機能を最大限に発揮し、これまで以上に市民の安全安心な暮らしを支えていく病院にならなければなりません。		
今後の展開方針		注）．例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		・平成24年度から着手している救急棟の整備に取り組むとともに、災害拠点病院としての機能を充実させます。	（該当する事務事業） 市立病院運営事業
既存事業の拡充		・診療体制の充実に対応するための職員定数見直しと長期的展望にたった職員確保対策を推進するとともに、小児救急をはじめとする救急医療体制の充実やさらなる施設基準の見直しと新たな施設基準の取得について検討します。	（該当する事務事業） 市立病院運営事業
事業の廃止・縮減			（該当する事務事業）
事業の効率化			（該当する事務事業）
その他見直し			（該当する事務事業）